

## 2012 年度第 2 回理事・企画委員会

### 理事会議事録

1. 日時及び場所 2012 年 6 月 22 日(金) 10:30～13:00  
東京都港区三田 2-15-45  
慶應義塾大学 三田キャンパス 研究棟 A会議室
1. 理事総数 15 名  
出席理事数 15 名 出席者：赤松幹之、大森正子、渋谷雄、大門樹、田中成人  
(委任状出席：宮尾克、木暮祐一、安藤明伸、岡田明、篠原一光、川野常夫、  
萩原啓、長谷川聡、丁井雅美、古川宏)  
企画委員：大川努、大杉淳、境薫、長谷川旭、福島かなえ  
幹事：伊藤肇、松沼正平 事務局：都築

1. 審議事項 議案 シンポジウムの件  
議案 モバイル研究会の件

#### 1. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり理事全員が出席したので、理事 赤松幹之が選ばれて議長となり、議長席に着き、議案の審議に入った。

#### 議案 シンポジウムの件

議長は、シンポジウム「モバイル'12」の会計を資料に基づき報告した。ポスターの取り止め、謝金の減により若干の黒字増加につながった事が追加説明なされた。

続いて、シンポジウム「モバイル'13」の開催計画を資料に基づき説明した。開催日は 2013 年 3 月 7 日(木)、8 日(金)とし、開催場所は青山学院大学渋谷キャンパス。

今回は一般発表に加え、課題研究枠を設定予定されている。課題研究枠に車関係のテーマを増やしたいので、関係者へ協力の要請がなされた。また、課題研究枠の「モバイルの安全性」を理事 宮尾克に担当していただいていたかどうかという案が出された。担当の理事 木暮祐一より審議事項として挙げられた役所への挨拶と関連業界団体との連携は承認された。

また、シンポジウム「モバイル'14」については、理事 萩原啓に担当意思の確認をとる必要があるとされ、事務局から確認を行うこととなった。

#### 議案 モバイル研究会の件

議長より、通信行動工学(CBE)研究会より共催の提案があったことが報告された。提

案内容は、モバイル学会から基調講演者およびランドテーブルパネラーの推薦をしてほしいとのこと。業務は全て CBE 側がしてくれる代わりにモバイル学会に収益はないが、その代わりにシンポジウムで発表してもらうことができれば実質的収益となり得るのではないかと意見がまとまった。議長より、第 14 回モバイル研究会をこの研究会との共催にしようかと提案があり、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。窓口は、理事 渋谷雄が担当することとなった。

提案スケジュールの 13 時～15 時の基調講演をモバイル学会が担当するが、この基調講演枠については、理事 安藤明伸に 45 分程度講演していただき、加えて 4 名程度の発表で構成することを提案するとした。発表者としては、理事 大森正子、理事 長谷川聡（もしくは企画委員 長谷川旭）、理事 大門樹(ITS スポット)、理事 篠原一光を候補とする。

また、理事・企画委員会を同日 11 時から 12 時半で開催を予定することとし、理事 篠原一光に会場確保の依頼を行うこととなった。

続いて、2013 年春に予定されている第 15 回モバイル研究会の担当について、議場に諮ったところ、理事 安藤明伸が候補として挙がり、事務局より依頼することとなった。また、2013 年秋に予定されている第 16 回モバイル研究会の担当について、議場に諮ったところ、理事 大森正子と理事 宮尾克が候補として挙がり、お二人で相談していただく事となった。

その他、大学リポジトリへの論文掲載を希望する申し出があり、その対応について審議された。結果、「モバイル学会誌論文投稿規定」第 12 条に許可すると書かれているので、基本的には許可するとした。学会では許可・不許可の通知のみで、電子化等の作業はせず、仮に出版版が必要な場合は著者自身が用意するとした。また、著者版（≠出版社版）については、学会は関与しないとした。これらの審議結果は、学会誌論文・研究会論文・シンポジウム論文すべてを対象とし、当面はこの結果を持って対応するとした。

#### 1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、議事録署名人として、理事 渋谷雄と理事 大森正子の 2 名を選任したいとの提案があり、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、午後 1 時閉会した。以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人が記名押印する。

平成 24 年 6 月 22 日

特定非営利活動法人モバイル学会

議長：赤松幹之

議事録署名人：大森正子

議事録署名人：渋谷雄

## シンポジウム「モバイル'13」開催計画（2012年6月20日現在）

### 1.開催概要について

開催日：2013年3月7日（木）、8日（金）

開催場所：青山学院大学渋谷キャンパス

※無償でお借りできることになりました

懇親会会場：7日夜 青学会館（予定） 予算 5,000円／名

シンポジウムテーマ：

「多分野に広がるモバイル研究の最前線」（案）

大会長：安田浩（東京電機大学教授・東京大学名誉教授・電子情報通信学会会長・

元NTT理事、元NTT情報通信研究所所長）

副大会長：赤松幹之（産業技術総合研究所）

実行委員長：木暮祐一（武蔵野学院大学）

実行委員：

学会役員に加え、シンポジウム運営にご協力いただく諸先生方を加え実行委員会を組織し、運営に当たる。また実行委員の諸先生方には、後述の課題研究で各自ご専門の分野で座長を務めていただくとともに、当該セッションの演題を集めていただく。組織としてはあくまで形式上のもので、実行委員会としての会合等は実施しない予定。

赤松 幹之（（独）産業技術総合研究所）

安藤 明伸（宮城教育大学）

伊藤 一成（青山学院大学）

伊藤 肇（株式会社トラスト・テック）

大川 努（情報通信ネットワーク産業協会）

大杉 淳（パイオニア株）

小張 敬之（青山学院大学）

大森 正子（神戸女子大学）

岡田 明（大阪市立大学）

岡田 朋之（関西大学）

川野 常夫（摂南大学）

境 薫（富士通デザイン株）

佐藤 和紀（東京都北区立豊川小学校）

篠原 一光（大阪大学大学院）

渋谷 雄（京都工芸繊維大学）

大門 樹（慶応義塾大学）

田中 成人（オムロンソフトウェア株）

丁井 雅美（広島国際大学）

萩原 啓（立命館大学）

長谷川 旭（名古屋文理大学）

長谷川 聡（名古屋文理大学）

東邦 仁虎（東京理科大学）

古川 宏（筑波大学大学院）

福島 かなえ（オムロンソフトウェア株）

松沼 正平（名古屋産業科学研究所）

水島 洋（国立保健医療科学院）

宮尾 克（名古屋大学）

山脇 智志（キャスタリア株）

横田 勝彦（東京電機大学）

その他、EMA 吉岡事務局長等交渉中

※その他、ご協力いただける諸先生がおられま  
したら、ぜひご推薦をお願いします。

## 2.特別講演

大会長講演：安田浩教授（承諾済み テーマ未定）

基調講演：未定 3名程度（総務省等省庁から1名、業界側から1～2名）

稲田修一氏はご登壇承諾済み（現、総務省大臣官房審議官 情報流通行政局担当）

## 3.課題研究

従来的一般研究演題のほかに、課題研究という枠を設定し、実行委員が座長を兼務しセッションテーマを決め、演題を構成する。各座長の先生方には、演題集めにもご尽力いただきたく存じます。

（一例）

- ・モバイルコンテンツビジネス ⇒東京理科大学経営学部・東邦仁虎教授に委託
- ・モバイルリテラシー ⇒関西大学・岡田朋之教授に委託
- ・モバイルヘルスケア ⇒国立保健科学院・水島洋上席研究員に委託
- ・モバイル医療・救命救急 ⇒東京電機大学・横田勝彦研究員に委託
- ・モバイルラーニング ⇒青山学院大学経済学部・小張敬之教授に委託
- ・モバイルの教育活用 ⇒青山学院大学社会情報学部・伊藤一成順教授に委託
- ・情報モラルとモバイル ⇒東京都北区立豊川小学校・佐藤和紀教諭に委託
- ・モバイルアプリケーション開発・技術
- ・モバイルインターフェース・ユーザビリティ
- ・カーナビゲーション
- ・モバイルの安全性
- ・子どもとケータイ
- ・モバイルセキュリティ
- ・モバイル国際比較 など

※課題研究のテーマについて追加やご意見等いただけたら幸いです。

## 4.産業界との連携

### ●以下の団体については協力を要請済み

- ・一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム（MCF）  
⇒東京スマートフォンAPPアワードの受賞作品紹介とか
- ・モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）  
⇒たとえばMCPCアワードの受賞事例を公表いただくとか
- ・一般社団法人ブロードバンド推進協議会（BBA）
- ・社団法人電気通信事業者協会（TCA） ⇒告知協力

・一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ） ⇒告知協力

●以下の団体・研究機関等は今後依頼

- ・NTT ドコモ モバイル社会研究所
- ・KDDI 研究所
- ・Android の会
- ・NTT 情報通信研究所
- ・情報通信学会、電子情報通信学会 など

## 5.後援・協賛関連

以下の省庁、団体等に協力を仰ぎたいと思います。

<後援>

総務省、経済産業省（などのお名前をお借りしてみてはいかがでしょうか）

<協賛>

MCF、MCPC、TCA、CIAJ、BBA（などのお名前を並べられたらいかがでしょうか）

関連各学協会

## 6.今後のスケジュール

7月初旬 後援、協賛各機関への確認、申請等

7月中旬迄 ポスター、チラシの制作、シンポジウム Web の制作

8月中 特別講演等の FIX、依頼

11月末 参加申し込み締め切り

12月中旬 プログラム編成、Web への反映等

1月中旬 論文原稿締め切り

2月 論文誌編集・制作

※都築さん、タイムキーパーお願いします（木暮の尻たたき）

## 共催のご提案

2012/6/22

電子情報通信学会 通信行動工学時限研究専門委員会

幹事 新井田統

通信行動工学(CBE)研究会は、通信工学や心理学、脳科学等の様々な分野の専門家を委員として、急速に発展を遂げる通信サービスの進化に遅れることなく、人々の通信に関わる行動を様々な観点から捉え、通信分野への工学的な応用を目指して、2011年度に発足した研究会です。学際的な研究の発表の場となることを目標としていることから、他学会との共催を推進しており、今回は日本社会情報学会 (JASI)と合同で開催しました。

第3回目となる今回、貴学会との共催を希望しています。開催内容について以下の通りご提案いたしますので、ご検討をお願いいたします。

### 1. 日時

2012年10月20日(土) 11時 - 18時

### 2. 場所

大阪大学 吹田キャンパス 情報科学研究科棟講義室

### 3. テーマ

「通信行動データの工学応用に向けて」

これまでCBE研究会においては、通信行動のデータ取得に関わる研究が多く発表されてきました。収集したデータの工学的な応用も本研究会の目指すところであるため、第3回研究会では上記のテーマで募集することを考えています。あくまでCBE研究会からの提案であり、決定事項ではありません。共催が決定しましたら、後日議論させて頂きたいと考えています。

### 4. 参加費

2000円 (参加費 1000円 + 資料代 1000円)

### 5. プログラム

- 11:00-11:10 挨拶
- 11:10-12:00 口頭発表 25分×2件
- 12:00-13:00 休憩
- 13:00-15:00 モバイル学会 (基調講演)
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-16:25 口頭発表 25分×3件

16:25-16:30 休憩

16:30-17:15 ラウンドテーブルディスカッション：コメンテータのプレゼン

17:15-18:00 ラウンドテーブルディスカッション：質疑応答

18:00-20:00 懇親会

#### お願い事項

基調講演者の人選

ラウンドテーブルディスカッションのコメンテータの人選

#### 6. 今後のスケジュール

7月 09 日(月) CFP 発出

8月 10 日(金) タイトル申込締切

8月 22 日(水) 電子情報通信学会誌（10月号）へのプログラム掲載締切

9月 19 日(水) 原稿締切

9月 28 日(金) 印刷依頼

10月 20 日(土) 当日

以上